



一般社団法人

京都経済同友会

Kyoto Association of Corporate Executives

京都北部港湾の振興と 整備に関する要望

2019年12月19日

2019年12月19日

一般社団法人京都経済同友会
北部を考える研究委員会
委員長 今井 一 雄

京都北部港湾の振興と整備に関する要望

平素は、京都府の経済活動につきまして、格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

京都北部には、世界と交易を広げる重要港湾舞鶴港、日本三景天橋立を有し風光明媚な地方港湾宮津港、海洋レジャーや温泉など観光資源が豊かな地方港湾久美浜港があり、それぞれの港の特色を活かした経済活動が行われています。

特に京都舞鶴港は、2010年に舞鶴国際ふ頭が供用開始されて以降、コンテナ等の取扱貨物量が着実に増加するとともに、近年では多くの大型クルーズ船が寄港し賑わいを見せ、地域経済の活性化、人流・文化交流の拡大に大きな役割を担っているところです。

一方で、中国、韓国、ロシア等の日本海周辺の大岸諸国は著しい経済発展を遂げ、双方の経済関係はますます重要となり、「物流・人流」の拡大を図ることは京都府北部地域のみならず関西経済圏の発展に寄与するものであり、これら諸国と地理的に有利な位置にある京都舞鶴港は近畿圏における唯一の日本海側ゲートウェイとして、一層の強化が必要と考えています。

つきましては、下記事項について格段の御配慮をいただきますよう要望いたします。

1 日本海側の拠点としての機能を高める京都舞鶴港の整備について

京都舞鶴港につきましては、日本海側の拠点港として舞鶴国際ふ頭の岸壁機能の強化等を進めていただき、コンテナ貨物の取扱量がこの10年で約4倍に増加しております。本年11月から日中韓コンテナ航路が新規就航しており舞鶴国際ふ頭の定期コンテナ航路は週4便に増え、利便性が向上したことにより、地元企業でありながらもこれまで他港を利用していた貨物が京都舞鶴港を利用する動きや、航路の多様化による新たなビジネスの創出が進められております。また、京都舞鶴港は、南海トラフ地震等、太平洋側での大規模災害等の発生も予測されるなか、リダンダンシー機能を有する港湾として注目をされております。これらのことから、今後、コンテナ貨物取扱量のさらなる増加が見込まれており、港湾の整備効果は地元経済の活性化に寄与しているところです。

しかしながら、舞鶴国際ふ頭は、コンテナ船のみならず、バルク船や大型クルーズ船も寄港するターミナルのため、航路が増えた結果、現在の1バースのみでは、悪天候等による寄港日変更要請等に対しても、これまでのような柔軟な対応が難しくなり、その結果、荷主に迷惑をかけてしまう恐れを危惧しております。加えて、利便性が高まるコンテナ航路と国際国内フェリー、及び背後道路ネットワークとの連携を活用した新たなビジネスの創出に伴う、新規コンテナ貨物の創出を見込んでおりますが、これに対応するための荷捌き地の不足は、非効率な横持ち輸送を発生させます。

また、臨港道路上安久線及び西舞鶴道路（国道27号）の整備は京都舞鶴港と京阪神を結ぶ舞鶴若狭自動車道に円滑に連絡できるようになり、舞鶴国際ふ頭を中心とした物流の競争力強化が図られるだけでなく、京都北部の地域振興にも資するものです。

つきましては、関西経済圏における日本海側唯一のゲートウェイである京都舞鶴港の国際競争力強化に向け、拠点機能の中核をなす舞鶴国際ふ頭において、地元経済の振興を更に支援する岸壁（水深14m）2バース目の早期着手、舞鶴国際ふ頭の第Ⅱ期整備、及び臨港道路上安久線の整備促進、をお願いいたします。

2 クルーズ船の受け入れ強化について

京都府北部地域では歴史的・地理的背景や交通基盤の整備の進捗を活かし、魅力的な観光まちづくりをソフト・ハード両面から進めることによって、京都市内に比肩する国際競争力を持つ「海の京都」観光圏を目指し取り組みを行っています。この取り組みにとってクルーズ船の寄港は、多くの観光客の誘致の好機であり、地元経済界としても地域経済の活性化に大いに期待しております。

地元経済界としても、引き続き、クルーズ船の寄港を通じた地域の活性化に取り組んでまいりますので、クルーズ船受け入れのさらなる強化を図るため、京都舞鶴港において旅客ターミナルの整備促進及び京都北部港湾へのクルーズ船誘致に係る御支援をお願いいたします。

以 上



一般社団法人

京都経済同友会

Kyoto Association of Corporate Executives

600-8009 京都市下京区四条通室町東入 京都経済センター6F
T 075-353-1060 F 075-353-1063 <http://www.kyodoyukai.or.jp/>